

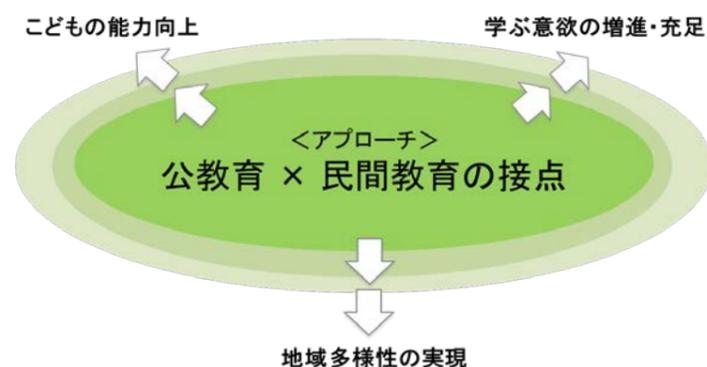
テーマD「新たな交流を生み出すまなびの拠点」 検討シート

- ・大学・企業・行政が連携して公教育と民間教育ノウハウの接点となるプラットフォームをつくり、新たな教材やプログラムの創造を行い学びのイノベーションを促進する拠点。
- ・地域と連携し様々な人との出会いや交流による新しい学びの関係による幅広い学びの機会を提供する拠点。
- ・外国籍者、ひとり親・生活保護家庭等の子どもや保護者に対して、大学生や企業 CSR、ボランティアとの連携によりスキル向上や就労のサポートなどの総合的な支援を行う拠点。

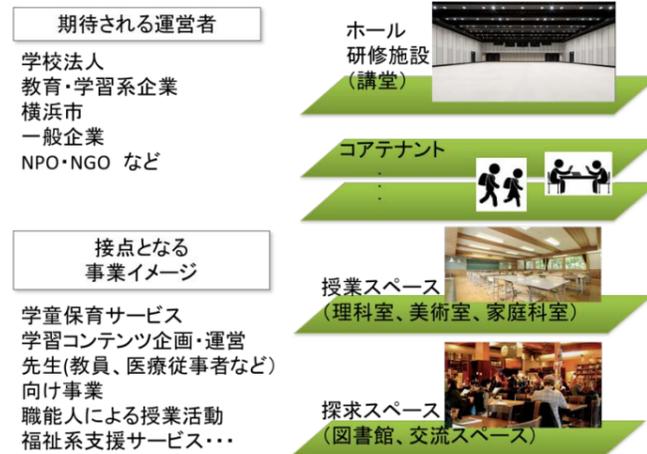
■機能について

	主な機能	背景	機能の概要	利用者のイメージ	運営主体チーム	周辺への波及効果や まちの価値向上への貢献
1	こどもの能力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの社会に求められる人材育成(グローバル教育や高い自己表現能力など)に対応した新しい教育コンテンツが必要。</li> <li>・これらに対応した教育コンテンツを生み出していくために、産官学が連携していくことが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の CSR・CSV 活動、民間事業の専門学校、保育施設・学童施設等と行政が連携し、新しい学びのコンテンツを生み出す。</li> <li>・グローバル教育、ICT 教育、自己表現スキル向上(プレゼンテーション)、サイエンス教育、体育(ダンス、体づくり)など、新しいこどもの教育を実践する、最先端の教職員研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の教職員、一般人、企業を対象に最先端の横浜市の教育・まなびのノウハウを提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学びのコンテンツを提供する企業</li> <li>・民間の教育関連産業の企業</li> <li>・ICT、ものづくりやサイエンス、国際関連の先進的な企業</li> <li>・大学(教育、ICT・ものづくり、サイエンス、国際など)</li> <li>・横浜市</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公教育のレベルアップ</li> <li>・全国から教育関係者が集まることによる、周辺飲食・宿泊施設等の利用需要増大。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的なこどものまなびのコンテンツを提供するスクール事業、子育て支援事業等を行う施設。</li> <li>・こどもの相談対応、学習指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳頃までの子ども</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学びの創出</li> <li>・子ども向けスクール事業による持続的な集客。</li> </ul>
2	地域と連携した学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な学びの機会が提供され、自ら学び自ら講師となる、まなびの新しい関係(コミュニティ)づくりが求められる。</li> <li>・地元商店や横浜マイスター、特色ある企業等が、市民と交流を深め、情報発信を行うなど、地域と連携していくことが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民大学の場合</li> <li>・発表の場やミーティングの場</li> <li>・個人の創作やコミュニティづくりを促進する拠点</li> <li>・横浜のまなびに関する情報発信の拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主婦、ビジネスパーソン、学生など</li> <li>・自らのスキルを活かしたい人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の学びを提供する主体のネットワーク(NPO化)</li> <li>・オンライン学習のプラットフォーム提供企業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺のまちを使った市民大学の展開</li> <li>・まなびのコミュニティ形成による固定客獲得</li> </ul>
3	地域多様性の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国籍者、ひとり親・生活保護家庭、障がい者などに対して、ハンディキャップを克服するためのサポートが求められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子育て支援拠点</li> <li>・保護者のための相談、母子家庭支援、女性の就労支援</li> <li>・外国籍の児童、その親の日本語学習支援、生活サポート</li> <li>・多様な人が共存する社会を実現するための教育・学習の場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親・生活保護家庭、外国籍者、障がい者</li> <li>・子どもとその保護者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市</li> <li>・NPO</li> <li>・大学生ボランティア</li> <li>・CSR・CSV活動として関わる企業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前の立地を活かし、保育施設等により女性の就労を支援する</li> <li>・多様な国籍の住民が生活するエリアで、多様な価値観を理解し交流することによる社会的な課題の解決につなげる</li> </ul>
4	関連する民間事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、学童、専門学校、社会人向けスクールなど、民間ビジネスとしての様々な学びの場をつくること求められる。</li> <li>・駅直近の利便性を活かした民間事業</li> <li>・ホール等を活用した民間事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色あるスクール事業を行う施設</li> <li>・こどもの能力向上機能に対するコンテンツ提供も合わせて行う。</li> <li>・ブックショップやビジネスライブラリー、カフェ、文具や教材等の教育関連のショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種施設の「学び」対象者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある保育、学童、スクール事業を行う民間企業、専門学校、社会人向け大学、ビジネススクール</li> <li>・教育関連書籍・物品等販売企業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の教育と関連したスクール事業やショップ等の民間事業への集客による周辺飲食等の利用需要増大。</li> </ul>

■コア機能とアプローチ



■拠点の機能複合イメージ



■波及効果

